

Management Club Report

Jan.2021/Vol.217

Monthly Opinion 《強く美しい歯科医院を考える》

2021年、令和3年を迎えました。コロナ禍の下、すべてに控えめな新年の幕開けとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。

さて、今年の研究及び活動テーマは『強く美しい歯科医院作りを目指す』と致しました。既に一昨年に『強い組織の歯科医院』をテーマと致しましたが、今年はそこに『美しい』を加味しました。昨年テーマと致しました『顧客幸福を高め従事者幸福を高める』の流れの中で「強さ」と「美しさ」はそもそも来院者が求めている歯科医療に対する基本的な価値であり、顧客幸福はその価値の高まりによって実現することになるのではないかと考えたことによります。

さらに新型コロナウイルス感染症という、世界中の人の動きと私たちの日々の生活を大きく変えてしまうほどの強風が吹き荒れている中で、求められるものは組織としての「強さ」であり「美しさ」であると強く感じたからでした。

今月は、スタート月でもありますので、強く美しい歯科医院とはどのようなものなのか、また何が「強さ」で何が「美しさ」なのか、科学的な見地に基づき医療を施す歯科医院で、そのことがどのような意味を持つのか、といった根本的なところから考えて参りたいと思います。

1

強い歯科医院とは何かを考える

多くの支持を受ける歯科医院の評判

『強い歯科医院』とは環境変化にもぶれず、多くの市民の継続的な支持を受け続けるというイメージがありますが、そんな歯科医院を評する言葉としてポピュラーなのは「上手な歯医者さん」や「丁寧な歯科医院」あるいは「優しい歯科医院」ではないでしょうか。こんな会話がよく聞かれます。

